

飯南

いinan

議会報

- 02 令和の飯南町議会
- 03 6月議会報告 可決された主な議案
一般会計補正予算
- 04 一般質問
- 08 飯南町議会基本条例の概要
- 09 討論 採決の結果
- 10 常任委員会報告 議会活動報告
全員協議会の議題
- 12 明日を拓く

第58号

令和元年7月19日



令和の飯南町議会

平成から令和へと元号が変わり、新時代の幕開けとなりました。時代は変われど、飯南町民約4,800人の暮らしに関する予算は、議会が認めることで執行されていきます。町づくりは、もとより町長と町民が話し合っ創っていくものですが、町民の代表として議員が選ばれ、議会で審議や協議をして決めていく仕組みになっています。ただ、議会の動きを検証するのは、町民のあなたです。議会を傍聴して、あなたも町政に参加をしてみましょう。



議会を傍聴しましょう

議員のなり手がいない現状
 地方では議員のなり手がなく、議会の存続が危ぶまれる地域がはじめています。自分たちの地域のことを、自分たちの意思が反映されないままに決められるようなことがあれば残念な事です。

「議員報酬だけでは生活ができない」「議員の仕事に魅力がない」などの意見を聞きます。
 町議会の将来を見据え、議員に一定のルールを設けて臨もうとしたのが、このたび制定した議会基本条例です。議会も新時代を迎えて、新しい取り組みに向けてのスタートラインに立ちました。

議会の役割は明確です

平成29年4月の議会報で、既に皆様には広報していますが、大切なことなので、再度ポイントを抜粋します。

- 1 住民を代表する機関
- 2 地方公共団体の意思を決定する最高機関
- 3 執行機関の監視機関
- 4 提言する機関
- 5 地方自治体の内部機関
- 6 公益に関する機関意志を決定

する機関
 としています。議会がこうした機関であることを常に認識したうえで議会活動に臨まなければなりません。

議会と議員の使命を果たす
 本議会報の8ページに、私たちが長時間を費やして作成した「議会基本条例」の概要を掲載しています。自らの行動を前述の議会の役割に照らし合わせ、議員としてあるべき活動の指針を明確化したものです。

さて、令和最初の6月定例会の傍聴者はゼロでした。自分が選出した議員や他の議員が、どのような質問を行い、執行部がどう回答をしているのか、気になりませんか。

令和元年 6月定例会終わる

6月4日から14日までの11日間で開催

元号が令和となり、はじめての定例会議が6月4日から6月14日の11日間開催された。

平成24年、安倍内閣が誕生して、国の公共事業予算は、平成24年度が4兆8500億円、平成27年度に6兆円になったものの、それからは横ばい状態が続いている。補正による積み増しが年々減少する中で、地方のインフラ整備に大幅な遅れが生じている。

このような中で、本年度の社会資本整備総合交付金の交付率が96・1%、3億2000万円余の内示があり(例年は60%程度)、町道八神千原線、町道駐車場川原線、町道角井境線の改良工事進捗が図られることになった。

医療及び福祉従事者確保対策事業は、平成23年度から助成が始まり、平成28年度に介護学生、平成30年度には保育学生に拡大された。

この制度の利用者は24名に上り、卒業生7人が町内の事業所で勤務している。研修中や在学中は15人で、貴重な人材確保の制度となっている。

可決された主な議案

- 条例関係
飯南町議会基本条例の制定など5件
- 承認
元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定など7件
- 予算
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など6件
- 諸議案
来島拠点複合施設建設工事請負契約の締結など4件
- 報告
議会の委任による専決処分の報告など3件

〔令和元年度 一般会計補正予算 2億2214万円増額〕

町道八神千原線等町道整備事業費9570万円の増額、農業基盤整備促進事業 4140万円の増額、法面等災害防除事業 2700万円の増額、プレミアム付商品券事業1030万円(新規)など

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	2億2214万円	89億4682万円
特別会計	国民健康保険事業	△75万円 6億5491万円
	介護保険サービス事業	260万円 3768万円
簡易水道事業会計	△177万円	6億1223万円
下水道事業会計	325万円	5億4208万円
病院事業会計	△1316万円	12億5688万円

一般質問

6月定例会



内藤 眞一 議員

Q10連休対応の 総括は

3月定例会で10連休対応について質したが、特に問題なしとの回答だった。

しかし実際には、住民から「仕事で町営バスを利用するため、10日も止まれば困る」という声があった。

本当に住民の立場にたって考えていたのか。

A 支障なく運営

町長 山崎 英樹

住民生活に大きな混乱の無い10日間だったと思う。町営バ



乗客を待つ町営バス

スの運行についてご不便を掛けたい。今後の課題としたい。

Q 防災訓練の内容は

6月2日に防災訓練が実施されたが、報告書を作成するための訓練だったのか。

また、「警戒レベル」という新しい避難情報が伝えられたが、町民に理解されていたのか。

適切な情報提供により、起こる被害を想定した「本気で取り組む」訓練を計画すべきではないか。

本当に現在の訓練で良いのか。

A 訓練を検証したい

町長 山崎 英樹

今回の防災訓練のねらいは、正確な情報収集を行い、確実に伝達することだった。

そのため、避難所での報告書作成は、訓練の根幹のひとつと考えていた。報告書をしっかり検証し、問題点や反省点を今後の訓練に活かしたい。

また、新しい警戒レベルなどの情報を周知徹底したい。

Q 早急な通学対策を

児童・生徒数の減少から、一人で歩いて通学する児童・生徒がいる。できる限り通学バスに乗せる方が安全だと思う。早急な通学対策が必要だ。

また、学校統合を検討する時期が来ているのではないか。

A 安全安心を第一に

教育長 矢飼 斉

学校統合の際の約束で、スクールバスを運行している地区がある。バス利用者より遠いところから徒歩や自転車通学している児童・生徒がいる。



徒歩や自転車での通学は、心身の発達や体力、忍耐力、思いやりなどの育成につながっていると思っているが、児童・生徒の登下校は安全安心が第一であり、保護者の意見を伺いながら検討したい。

A 統合は議論が必要

町長 山崎 英樹

教育、学校の在り方については、議論が必要な時期にあると認識している。

学校統合より、どんな人材を育てたいか。そのためにはどんな教育が必要か。どんな教育の場が必要であるかが、議論のスタートだ。



一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

Q カフェイン過剰摂取防止を

カフェインの過剰摂取は、吐き気や意識の低下、心肺停止状態になる場合もあるとのこと。5年間で101人が搬送され、内3人が死亡した(日本中毒学会調査)ということである。エナジードリンク(カフェインを大量に含む)の過剰摂取には注意が必要である。

町内で容易に購入できることがわかった。本町の児童・生徒がどのくらい摂取しているか把握しているのか。エナジード

A 町ぐるみで機運を盛り上げる

教育長 矢飼 斉

発育段階にある児童・生徒のカフェイン過剰摂取は、身体に悪影響があると考えている。児童が校内で摂取している状況はないが、家庭での状況はわからない。高校生の摂取量は確認できないが、校内・校外にかかわらず摂取していると考えられる。

学校教育で指導・防止するのには限界がある。家庭内での予防策・指導も大変重要であり、一緒になって取り組む。

家庭学習の支援や公民館を核とした社会教育をしっかりすすめる、町ぐるみで健康な子供を育てる機運を一層すすめていきたい。



Q 高校生まで医療費無料化を

怪我や病気などの医療費は、家庭にとって大変な負担となる。家計のことを気にせず、医療機関に通わせたいという親の願いは切実である。

高校生の医療費無料化は、子育て支援にとどまらず、少子化対策、飯南高校の存続についても有効な手段と考える。さまざまな効果をもたらすと思われるので、導入するべきと考えるがどうか。



飯南病院の玄関

A 振興計画で検討

町長 山崎 英樹

第2次総合振興計画を策定中で、検討すべき項目の一つと認識している。学校給食の無償化への意見も含めて検討する。皆で考えていきたい。

「子育て世代が住みたい田舎日本」の本町として、子育てしやすい町づくりをすすめていく。

一般質問

6月定例会



早樋 徹雄 議員

Q 飯南高校 記念の森を

飯南高校のテニスコートが平成28年度に整備された。広範囲に周辺を伐採し、現在では国道から校舎が望めるようになった。高校の環境整備に協力していただいた山林所有者の方々には、お礼を申し上げる。町長は、3月定例会の一般質問において、「飯南高校の存続は飯南町の浮沈に関わる重要課題と位置づけた」と答弁しているが、町長就任以来、町を挙げての飯南高校魅力化は、各方面から高い評価を得ている。

今年の入学者は59名で、町外・県外出身者が半数以上であり、取り組みの成果が出ている。こうした中、山林の一部を町で取得し、「飯南高校記念の森」として卒業の記念植樹などができれば、卒業後、町内外で活躍する人や、この地を離れ大学へ進学する人たちにも、在校生へ進学する人たちにも、在校生の思い出が記憶に残ることになる。それは町にとっても大きな財産になるのではないかと。

A 良いアイデア

町長 山崎 英樹

飯南高校の魅力づくりの取り組みには、多くの皆様の理解と協力を頂いており、お礼を申し上げます。町内生徒が減少する中、県外からの生徒は20名以上在学しており、多くはホストファミリーを利用して生活を行い、飯南町に愛着を持ってきてくれている。

飯南高校を卒業された皆さんには、飯南町を担って欲しいと願っているが、近年は町外・県外出身の生徒もそうした志、意思を持ってくれる人材も現れている。本年度策定する地方創生総合戦略においても、飯南高校との連携は重要だ。

「飯南高校記念の森」は、飯南高校同窓生・ホストファミリー・本町のつながりを確かなものにし、町の大きな財産となる。今後、所有者の意向を聞き、取得・管理体制などを高校卒業生会などと協議し、前向きに検討する。

向野萱から高校周辺を望む



飯南高校の存続は、飯南町の浮沈に関わる重要事項であり、一層取り組みを進めていかなければならない。

一般質問

6月定例会



安部 丘 議員

Q 人手不足への支援は

本町の有効求人倍率は約7倍であるが、新たな人材の獲得は望めない。政府は、打開策として「改正出入国管理法」を施行し、5年間で最大34万人余りの外国人を受入れる。

これまでの緩やかな人材確保施策だけでは、改善は望めないと考える。町内事業者の人手不足に対し、どのような支援をしていく考えか。特に、福祉施設における人材不足は深刻だ。

町内に2施設ある特別養護老人ホームの入所待機者は40名余、すぐにも入所が必要なが数名おられる。このような中で、人手不足から受入れ利用者数を縮小せざるを得ない状況にまで至っている。今こそ、町と社会福祉協議会が方向性を示し、老人福祉をリードしていく時だ。



次に、町外に人材を求める場合、課題となるのが住居だ。利便性の高い場所に単身者用アパートを建設し、事業者の住居手配の負担軽減と、町外人材にとって生活し易い環境を整える必要があると思うが、町長の考えを問う。



単身者向けの住宅

A スピード感をもって努力

町長 山崎 英樹

人材確保支援センターや無料職業紹介所を設置し、求人・求職情報の収集・発信・マッチングを積極的に実施し、一定の成果を上げている。更に今年度、外国人雇用も含め、人材確保に必要な経費の一部を助成する人材確保対策支援事業補助金制度を創設した。

将来を見据え、「持続可能な地域社会総合研究所」に委託した「飯南町人口推計及び分析」



「地区別介護分析」、「福祉人材の現状と推計」を参考に、飯南町の福祉の未来予想図を描くことが肝要であり、「第二次総合振興計画後期計画」に反映する。福祉施設協議会、社会福祉協議会、地域包括ケア推進局が組織の壁を越えてつながり、総合力を発揮できるよう、町も大いに尽力する。

国で検討されている特定地域づくり事業協同組合制度は、人材不足の解消につながるものと考えており、地域包括ケア推進の上からもしっかりと研究していく。

「医療・福祉を守る」「町内企業・事業所を守る」という観点から、スピード感を持って努力する。また、初期投資を町が助成して、低家賃の民間住宅を事業として成立させたく、財源措置を県知事要望として行っている。



飯南町社会福祉協議会と福祉施設



飯南町議会基本条例の概要

町民の負託に応え、福祉の向上、議会制民主主義の健全な発展に寄与するために飯南町議会の基本理念を定めました。議会および議員の活動原則を明らかにし、議会と町長・町民との関係の基本的事項を定めることを目的としています。なお、飯南町議会基本条例の全文を全戸配布しています。

前文

地方議会の役割や責任が大きくなっている現状を踏まえ、議会の役割と使命を明らかにし、目指すべき姿を示し、これを実現するため、条例を制定するという決意を述べています。

第1章 総則

第1条 第2条

議会の活性化を図ることで、町の発展と町民の福祉向上に寄与する事を目的とします。

第2章 議会および議員の活動

第3条 第4条

町民の代表機関として、町民の負託と信頼に応えるための議会・議員の活動原則を明確にします。
 ・積極的な情報公開や町民との対話に努めます。
 ・多様な町民参加の場を設けていきます。

・自己研鑽に励み、政策提言、政策提案に努めます。

第3章 町民と議会の関係

第5条 第8条

町民参加の取り組みおよび議会と町民の関係について定めています。

第4章 町長等と議会との関係

第9条 第12条

町長等と議会および議員の関係の基本原則を明らかにします。
 ・一般質問において、町長に反問権を認めています。

第5章 自由討議の拡大

第13条 第14条

議員間で積極的かつ自由な議論を通して、意思決定していくことを定めています。

第6章 議会運営および体制

第15条 第18条

民主的かつ合理的な議会運営と議員の能力向上に努めることを定めています。

第7章 議員の政治倫理、身分および待遇

第19条 第21条

議員が町民の代表としての自覚と倫理観をもって、職務を遂行することを定めています。
 ・議員政治倫理規程を別に定め、町民に信頼される公正で民主的な町政の発展に寄与します。

第8章 最高規範性および見直し

第22条 第23条

この条例は議会の基本となる条例であり、最高規範であることと定めています。

DEBATE

討論

平成30年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)

反対討論 伊藤好晴議員

年齢で差別し高齢者に犠牲を求める後期高齢者医療保険制度に反対してきた。

元の老人保険制度に戻せば、保険料の限らない引き上げや、別枠の診療報酬による差別医療はなくなる。高齢者が75歳になったら、家族の医療保険から切り離されることもなくなり、65歳〜74歳の障がい者も国保や健保に入ったまま、低負担で医療を受けられる。

制度を廃止した上で、減らされてきた高齢者医療への国庫負担を増額し、保険料・窓口負担の負担軽減を目指さなくてはならない。

採決の結果

[6月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	瀧尻行雄	門真一郎	熊谷兼樹	内藤眞一	早樋徹雄	高橋英次	景山登美男	安部 丘
元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町税条例等の一部を改正する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町一般会計補正予算(第10号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第6号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31飯南町ケーブルテレビネットワークFTTH化工事(第2期)請負契約の締結	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31来島拠点複合施設建設工事請負契約の締結	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(町営バス車両)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(飯南町小型動力ポンプ付普通積載車)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町病院事業会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

[追加提案]

件名	結果	伊藤好晴	瀧尻行雄	門真一郎	熊谷兼樹	内藤眞一	早樋徹雄	高橋英次	景山登美男	安部 丘
飯南町非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町議会基本条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長 内藤 眞一



町道角井境線（未完成）

平成30年度 飯南町一般会計補正予算(第10号)

リースハウス団地整備事業 360万円減額

資材の入札価格が低く抑えられた。平成29年度が大雪だったため、パイプハウスの雪害対策で在庫が大量にあり、低価格で入札された。

道路除雪事業 1965万円減額

暖冬の影響で全線除雪が3日であったことによるもので、除雪機械車検整備費ほか必要経費を除いたものを減額。

社会資本整備交付金 9570万円増額

町道角井境線、八神千原線、駐車場川原線等の整備進捗を図る。

町道頓原長谷線(頓原小・中学校登校路)のロードヒーティングを撤去することが報告された。安全確保が困難になるため継続すべきとの意見があった。

建設課と教育委員会が話し合い、安全確保のため適切な措置を取るよう求めた。

令和元年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

農作物鳥獣被害防止事業 320万円増額

鳥獣被害対策協議会に対し、国の交付金が増額された。鳥獣被害対策協議会が、ワイヤーメッシュ・電気柵・捕獲用檻を供与する。国からの交付が遅いため、町が立て替えて事業実施し、早期対応する。

商業活性化重点支援事業 417万円増額

キャッシュレス決済導入促進体制を整備する補助金。町内の商店が、消費税軽減税率対応レジの導入、決済手数料、W i - F i 通信環境整備などを行う場合に補助。



全員協議会の議題

令和元年5月17日(金)

- ①改元に伴う元号による年表示の取扱いについて
- ②飯南町防災訓練実施計画について
- ③地方公会計による平成29年度決算について
- ④総合振興計画等策定の状況について
- ⑤ふるさと納税について
- ⑥加田の湯におけるレジオネラ菌の発生への対応について
- ⑦赤名小学校教諭の住宅侵入事件について
- ⑧飯南木質バイオマスセンターの休止について
- ⑨福祉施設整備(晴雲の里)について
- ⑩その他

- (1)職員採用試験の実施について
- (2)次期一般可燃ゴミ処理施設における広域化について
- (3)まちづくり講演会について

令和元年6月14日(金)

- ①水害・土砂災害の警戒レベルについて
- ②飯南町防災訓練実施結果について
- ③会計年度任用職員制度について
- ④改正健康増進法に伴う受動喫煙防止対策について
- ⑤その他
 - (1)参議院議員通常選挙について
 - (2)町政座談会の新たな形について

常任委員会報告

総務厚生常任委員会

委員長 瀧尻 行雄



晴雲の里移転予定地を視察

平成30年度 飯南町一般会計補正予算(第10号)

【歳出】

ふるさと応援寄附促進事業 1106万円減額

ふるさと応援寄附金に対する返礼品等の経費を減額。

消防団員退職報償金 459万円減額

消防団の退団を20名想定していたが14名にとどまったため。

団員の補充について質疑があり、昨年消防団員の定数が削減されたが、それでもなお現状維持が厳しい状況にあるとの回答があった。

【歳出】

プレミアム付商品券事業 1030万円

消費税率改正に伴い、住民税非課税世帯及び3歳未満の子供がいる子育て世代に対し、25%のプレミアム付の商品券を販売するもの。

今回のプレミアム付商品券は、対象者を限定して発行する。混乱を招かぬよう広報はせず、対象者にハガキで直接通知するとの説明があった。

障がい者福祉施設整備事業 644万円

N P O 法人晴雲の里が運営している地域活動支援センター(就労継続支援 B 型事業所)を移転新築するための用地取得と測量設計費。

令和元年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

債務負担行為(追加)

・医療及び福祉従事者確保対策助成金 1160万円

・医療及び福祉従事者確保対策助成金 保育士分 340万円

令和2年度に、看護学生2名、介護学生2名、保育学生2名を募集する。

債務負担行為(変更)

・医療及び福祉従事者確保対策助成金 保育士分 限度額340万円を290万円に減額

令和元年度から令和2年度までを、令和4年度まで2年間延長する。

昨年より保育士を確保するため修学助成を実施している。(2年就学2名が、4年就学1名になり、1名分の入学金が不要となった)



来島高齢者生活福祉センターを視察

議会活動報告 [4月~6月]

4月 3日 議会広報編集委員会
17日 教育経済常任委員会
25日 議会運営委員会

5月 13日 議会運営委員会
14日 議員研修会
17日 全員協議会
21日 議会運営委員会
30日 議会運営委員会

6月 4日 6月定例議会:本会議、町長提出議案の説明
7日 :本会議、一般質問
10日~12日 :委員会審査
13日 :委員会審査、予算特別委員会審査、議会運営委員会
14日 6月定例議会:本会議、討論、採決
:全員協議会
18日 議会広報編集委員会
25日 議会広報編集委員会

頓原町から飯南町へ

町区新道町にお住まいの

鳥屋ヶ原孝さん(昭和九年一月生)

旧頓原町で、永く町議会議員を務められた鳥屋ヶ原孝さんにインタビューしました。

私は、頓原町議会で7期、飯南町との合併時の在任特別期間を合わせて30年近く議員を務めさせていただいた。

お世辞のひとつも言えない無骨物ではあるが、町民の皆さんにご支持をいただき、ありがたいことと感謝している。家族にもずいぶん苦勞をかけたが、黙って支えてくれ、感謝でいっぱいだ。

この間、一番大きな事案は平成の大合併だった。

国の方針ではあったが、まず国自体が合理化を行い、地方に示すべきだと思った。議会にし



ても、国と地方では大きな格差があった。

議員として取り組んだことは

老人福祉の中で、特別養護老人ホームが絶対必要であると思いを推進した。

否定的意見のある中で、複数の同僚議員と協力し、建設に漕ぎつけたのだが、ふりかえって思えば大変な道のりであった。

運営され始めてからは、雇用が生まれ、お年寄りが安心して暮らせる環境を整えることが出来た。何歳になっても、生まれ育った町で知人に囲まれて過ごせることは大事なことだと思っている。

財政面では、地元負担金の財源に苦慮したが、多くの町民の皆さんにご協力いただいた。

飯南町議会に望むこと

議会に定められた仕事がある中で、10人の議員でこれを行うことには無理がある。

常任委員会が2つでは、一人の議員が複数の事案を受け持つ

ようになり、不適切だと思う。小さな町といえども、議会には適正な議員数が必要で、10人ではどうにもならない。

常任委員会のほかに監査委員会、広報委員会、議会運営委員会がある中で、特別委員会の設置が必要にでもなれば、とても対応が出来ない。最低12人の議員が必要だと思う。本来ならば14人の議員が必要だ。常任委員会は3つあるべきだ。

これからは、議員提案による条例の制定が出来るようでないといけない。そのためには、議員定数を増やすことと、議員は研修を重ね研鑽に励んでもらいたい。



思い出が次つぎとよみがえってきます

「図書館は静かに…」と、子供たちに言っているはずですが、腹をよじって大笑。交流センターとんぼらの図書室では、町の歴史を綴った小冊誌を見ながらの昔話に花が咲いていました。鳥屋ヶ原さんは、ただ今85歳。元氣な奥さんと頓原の町区に2人で暮らしておられます。議会人の先輩らしく、ご意見をしっかり持たれておられて頼もしい限りでした。

編集後記

本年6月議会に上程されたすべての議案は、可決承認され、さらに良い方向に向かうものと思われま。我々は議会人として常日頃より一丸となって、本町の進むべく道筋を見極め、議論を重ねている所であります。今後も更に良い方向に向かい、住みよい「ふるさと」になりますよう、努力して参ります。

「担い手不在の集落」が、県内で1094箇所、県下の農業集落4078箇所の26・8%を占め、将来的に農地維持が困難であると分析されています。県は、この問題に向う5年間をめどに、積極的に対応をしようとしております。地域農業を支援し認定農業者、新規就農者を増加育成する方向に動き出します。

私達は、そのような県の動きをよく見極め、さらに良い地域が形成されるよう努力しなければならぬと考えております。町民の皆様と共に手を携えて頑張ってまいります。

議会広報編集委員会 瀧尻 行雄

明日を拓く



今月の表紙写真

